

広報

川越

No.1066 (平成15年11月10日)

2003.4.1 中核市・川越誕生

川越に探す 青樹の足跡：2

あなたの向学心を応援します：11

志多町の山車 江戸天下祭に参加：12

表通り 小江戸の秋 川越まつり写真館：18

*携帯電話等の「マイタウン情報」で、広報川越の情報(一部)が見られます。



平成16年開催 彩の国まつり 国体



川越はゴルフ・サッカー・バレー・ボール・高校野球(軟式)の会場です

小江戸川越菊まつり (喜多院・小仙波町1丁目) ・関連記事はアページ

川越に探す 青樹の足跡

青樹

市立美術館では、十二月七日(日)まで「開館一周年記念・没後七十年 小茂田青樹展」を開催しています。

写生を重視し、親しみやすさを感じさせる画風で高い評価を得た小茂田青樹は、少年期を川越で過ごしました。その後、青年期に二回、川越に戻り生活しています。そして、川越を題材にした、いくつかの作品が残されています。この企画では、市内にある青樹ゆかりの場所を紹介するとともに、作品に感じられる川越らしさを探します。

*題名に■が付いている作品を含む約六十点を、同展で鑑賞することができます。
問い合わせ…市立美術館・TEL228-8080



小茂田青樹
(明治24年～昭和8年)

青樹は明治二十四年十月三十日に、呉服店を営む小島徳右衛門の次男として生まれました。幼名は茂吉、生家は現在の小島家住宅(幸町)です。五歳の時に、親せきである小茂田家の養子となり、名前を茂と称するようになります。川越尋常小学校と川越高等小学校に通い、卒業後、「茂谷」と号して絵を描くようになります。この時期の作品に、正月の一番街通りの様子を描いた『商家雇人風俗画帖』があります。

御舟がいました。

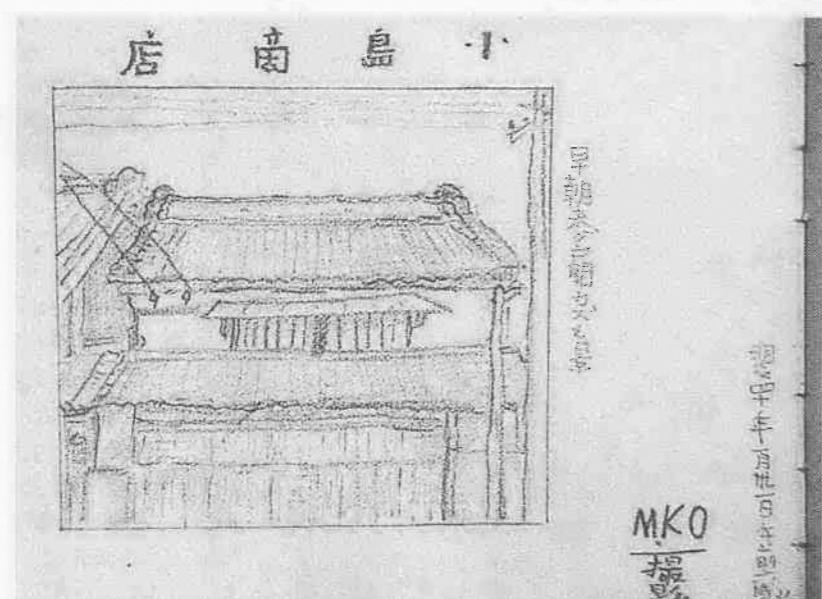


■商家雇人風俗画帖 (明治40年ごろ)

「亡夫が青樹のおいに当たり、この家にたびたび来ていたと聞いています。平成4年に蔵造りを改修した際に建て替えてしましましたが、元の建物の手洗いの壁には、小刀のような物を使って、人の顔が彫ってありました。小さいころから、絵を描くことが好きだったので。『商家雇人風俗画帖』は、当時の小島家住宅周辺の風景を描いています。現在残っているスケッチブックには小島家住宅のほか、喜多院などの建物、木・人物・酒だるなど、いろいろな物が描かれています」と、小島清子さん(幸町)



現在は市指定文化財である小島家住宅(上)と、明治40年に青樹が描いたスケッチ(右)。「蔵造りを改修するとき、壁の色を川越に多い黒にしようとも思いましたが、やはり昔のままの黄色味を帯びた色を再現しました。今も、青樹が住んでいた当時の色と形です」と小島さん



明治四十四年に、『枇杷の花』が当時の新人の登龍門であつた異画会展に初入選しました。その後、大正二年末から御舟たちと共に京都へ行き、修行に励みます。

大正三年に東京に戻り、雅号を「青樹」と改めました。日本画研究団体の赤曜会結成へ参加、大正四年には再興第二回日本美術院展に初入選しました。このころは明るい南画風の作風でしたが、写生を重んじる態度は画塾時代から引き継がれています。しかし、大正五年に結核にかかり、川越の実家に戻って静養します。

大正七年の院展には入選したものの、翌年に落選したのをきっかけに、金乗院(所沢市)に住まいを変え、写実を極めようとする独自の画風を開拓します。大正九年から、現在の松江市に滞在。そこで描いた作品が大正十年の第八回院展で好評となり、日本美術院同人に推挙されました。同年、東京に戻ります。



20歳のころの写真。
右が青樹、左のこちらを振り向いている青年は速水御舟です

青樹



青樹の足跡略図 (生家周辺)



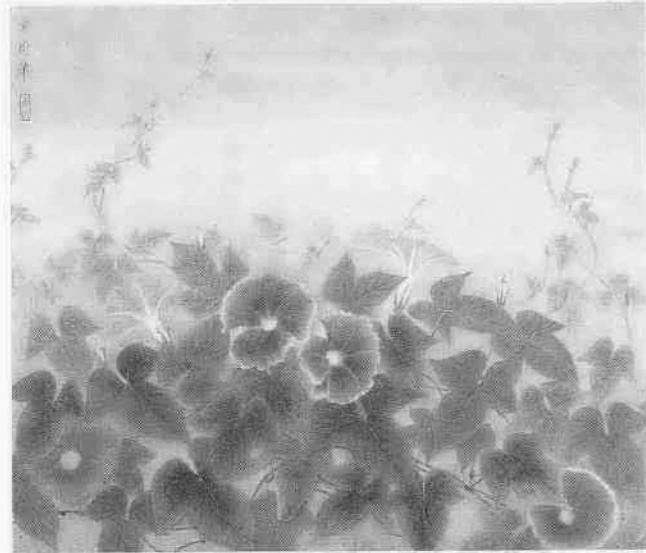
開館式典の写真
右がモデルとなった青樹の長女・遠山仲子さん、舟橋市長の左が次女の阿野栄子さん



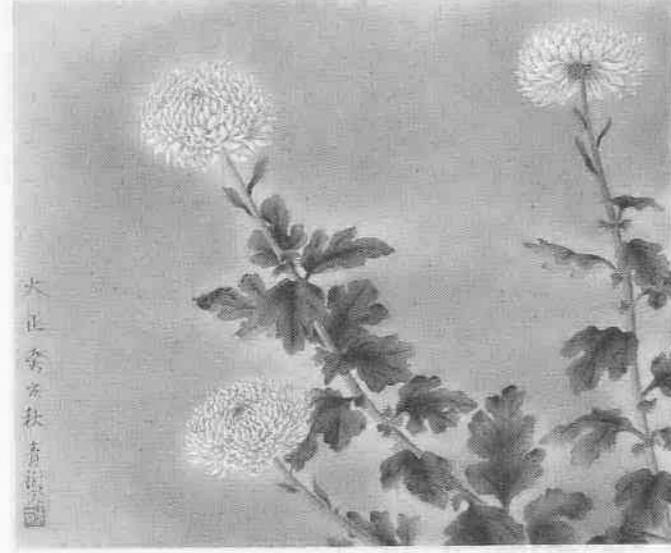
明治15年に開業された川越小学校の校舎の絵(五姓田芳雄作・川越小学校蔵)。現在の市役所本庁舎がある辺りに建てられたようです。青樹が通っていた明治30年から同34年までは、川越尋常小学校という名称でした



現在の川越第一小学校(旧川越高等小学校)にある「家老の松」。江戸時代に植えられたと伝えられ、明治34年から同38年の間に通学していた青樹も、この松を見ていたと想像されます



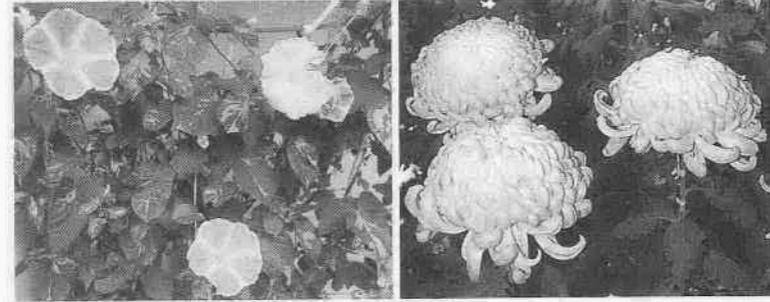
牵牛花 (あさがお・大正13年)



菊 (大正12年)



青樹が眠る廣済寺



『菊』は川越にいる時、『牽牛花』は川越から荻窪へ転居してすぐに描かれています。どちらも川越でよく見かける花。『牽牛花』も作品のイメージは、川越で得たのかもしれません。菊の写真は、昨年の小江戸川越菊まつりに行き、撮ったものです。左の朝顔は、通りがかりの家の軒先に見つけました



青樹の次女・阿野栄子さん（71歳・今福）を訪ねました。「私が2歳の時に亡くなりましたので、父のことはほとんど覚えていませんが、オナガドリが家にいたのを覚えています。父は動物好きで小動物を飼い、それを写生していました。また、仕事部屋で絵を描いていて、思うとおりに仕上がる上機嫌で踊りながら部屋から出てきたと、母から聞きました。子どもには優しく、ほとんどしからなかったそうです。『愛児坐像』は姉を描いていますが、そっくりだと今でも言われます。都内などで展覧会が開催されてきましたが、ふるさと・川越での展覧会開催を、いちばん喜んでいるのは父自身だと思います」

大正十三年、現在の杉並区荻窪に転居し、結婚。二人の女兒をもうけます。昭和四年には「杉立社」を組織し、後進の指導にも当たっています。川越に後援会もでき、大正十四年と昭和五年には川越市内の料亭で展覧会が開催されました。昭和七年、結核が再発し、現在の逗子市で療養生活を送りますが、容態は悪化していく、同八年に亡くなりました。墓所は、廣済寺（喜多・同町）にあります。



村道 (大正12年)



絵の左上に「於武州伊佐沼畔」とあります。地域の皆さんにご協力いただき、描かれた場所を探しましたが、耕地整理などが行われ、まったく同じ風景を見ることはできませんでした。ただ、山の形（写真上）は現在も変わっていないようです。絵の右下にある、かやぶき屋根の家は20年ほど前まで、この地区でよく見かけたそうです。現在は旧戸田家住宅（写真右上）で、当時の面影がうかがえます



青樹



一乗院住職の田中晃秀さん（45歳・鴨田・写真左）。「先々代の晃泰僧正のとき、当院で生活していました。晃泰僧正は絵心があり、その縁でしょうか？今は取り壊してしまいましたが、うつそうとした竹林に囲まれた書院で何人かの弟子と自炊していました。伊佐沼が好きで、よく絵を描いていたそうです。そう言えば、もう亡くなってしまったが、『村道』の中に描かれている子どものモデルになったという方が近くにいました。当院に残っているのは、青樹が旅先から郵送した花の絵が描かれているしゃもじ1本（写真左下2枚）だけです。私の後ろにある山門は、300年ほど前に建てられたと聞いています。青樹もここを通り、絵を描き出かけたのでしょうか？」



青樹の足跡略図（一乗院周辺）

大正十一年、川越に戻り、一乗院（鴨田）に身を寄せ、「月夜風景」「村道」などの作品を描いています。この当時の作品は、豊かな情感にあふれています。



舟橋市長に提案

No.104



市民課の窓口で迷わないよう、番号札を出してください。

提案要旨（市民目安箱）

市民課の窓口は混雑しているので、番号札を出すなどして、来庁者が迷ないようにしてください。

回答

市民課窓口では、印鑑登録、住民票・戸籍等の発行、住所変更・戸籍届け出等の受け付けを行っております。各出張所・連絡所でも同じ業務を扱っておりますが、本庁舎に来庁する方が多いため、休み明けの開庁日には混雑しがちです。

ご提案のとおり、市民課の窓口が混雑しているときは自分の順番がいつになるかわかりづらく、ご迷惑をかけておりました。そこで、11月4日から番号札発券機を設置し、順番がわかるよういたしました。

使い方は、①各申請書に必要事項を記入し、カウンターに設置してある発券機から、該当する窓口の番号を押して札を取ります②各窓口で番号をお呼びいたしますので、申請書と番号札を持って受け付けし、番号札の半券を受け取ります③市民課窓口の中央にある表示板に番号が表示され、番号をお呼びましたら、半券を持って3番窓口においでください。証明書等をお渡しします

また、しばらく席を外しても、番号表示板に番号が表示されたままになりますので、自分の手続きが終わったかどうかを確認できるようになります。ただし、終了する順番については、事務処理の都合で前後する場合がございますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

このことについては、市民課窓口係・TEL内線2452にお尋ねください。

自動交付機 運用休止のお知らせ

11月17日(月)～20日(木)

機器の入れ替えのため、上記の期間中は、本庁舎・南連絡所・高階南公民館・大東南公民館・霞ヶ関北出張所に設置してある自動交付機の運用を休止します。

なお、運用休止期間中の午後5時～7時、市民課(本庁舎1階)・南連絡所・高階出張所・大東出張所・霞ヶ関北出張所の各窓口を延長し、住民票の写しそ

より印鑑登録証明書の発行のみを行いますのでご利用ください。

問い合わせ…市民課住民係・TEL内線2456



平成15年度第2回 川越市営西武園競輪

第49回初雁賞・日刊スポーツ新聞社賞争奪戦
後節=11月18日(火)～20日(木) (F1)

開催場所…西武園競輪場 (所沢市・西武園駅下車)

発走…午前11時20分

入場料…100円 (15歳未満
は無料)

フリーマーケット を開催!

開催中毎日、午前10時～午後4時に競輪場内でフリーマーケットを開催します(入場料が必要)。

問い合わせ…商工振興課商工係・TEL内線2722



フランクリンの太陽光発電の家

平成15年8月10日 (No.1060)



平成九年から、川越市では住宅用太陽光発電システムの設置補助を開始。現在までの補助件数は四百件を超え、市民の皆さんのが環境保全に対する関心が高まっています。この記事の後も「取り付けたい」「資料がほしい」といった問い合わせや補助申請がありました。最近、テレビコマーシャルでも、目にする機会が多くなった太陽光発電システム。今後は、川越市だけでなく全国的な動きへと変化し、地球環境を考えた「小さな発電所」が増えていきそうです。

広報川越 No.1060 2・3ページ

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を紹介するコーナーです

祭りの思い出

ドン、ドン、カアカ、ドン、カツカ、と(私には、そう聞こえた)朝早く、子供達が大きなタコを、数人の大人達に見守られながら、聞く者のお腹の中をシビレさせる。祭りの日の行事事“ふれ太鼓”。一番に起こされた事が今は、川越祭の日に重ねて思い出す私の此の頃で

といわれる本社神輿に負けるものかと、カスレ声を出して腰を調子良く動かしている姿は、神輿担ぎの見せ場だったのでしょ

う。それに合わせて、“酒やのオヤジ、塩までおくれ”と、観衆の中から一声掛かると酒屋の主人は“待つてました”とばかりに塩をまいて景気を付けた。観衆の声は一段と賑やかになつた。又、その先頭を行く、天狗の面をつけ、一本歯の高下駄を観衆に見せるが如く、又、馬上には正装した神官の姿、でも、この行列を二階から見物する事は出来ませんでした。警察官に注意されるようでした。

犬は飼い主の鏡なのです

今日、軒並み犬を飼っている家が多くなっています。何かにつけて吠えて、近所迷惑になつております。毎日大きな声で吠

ふりがなは広聴広報課で付けておりました。

あて先=〒350-8601川越市役所広聴広報課「デュエット係」・ファックス=225-2895・Eメール=info@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず氏名・年齢・住所・電話番号をご記入ください。匿名、ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

昔々のお話ですが……。この様に昔話が出来ます日々を感じる

日と思い筆を走らせました。

村上君江(野田)

広報川越から

祭りの思い出と合わせ、近況等のお便りも頂き、ありがとうございます。生まれ故郷は浅草

こじで有名な祭りといえば、お

越まつりや浅草神社(台東区)

便りの鳥越神社(台東区)の鳥

社祭は、今やみこし中心の祭り

ですが、昔は川越まつりのよう

に各町内から山車が曳き出され

ていたとか……。それが、都市

機能や交通事情の変化などで、

現在のように変わってきたよう

です。川越まつりでも、時代と

共に祭りの様式は少しずつ変化

してきました。しかし、囃子の

リズムは、昔と変わらず連綿と

受け継がれています。

平成十三年八月十日発行の広

報川越は「ニヤンとワンダフル

ライフ」と題して、ペットとの

暮らし方を考え企画記事を掲

載しました。その中で、犬がほ

えるには理由があることをお伝

えました。それは、喜びだつたり、警戒だつたり、要求だつ

たり……。ペットと共に暮らす

うえで大切なことの一つは、犬

が、周囲に迷惑をかけないこと

が、もつなかつっていくのでは?

犬がほえる理由を考えるとも

に、専門家(訓練士・獣医師)

に相談することも、時には必要

なのではないでしょうか。

犬がほえる理由を考えるとも

傍聴できます。希望者は、当会場へお越しください。

日直接会場へお越しください。

内容：都市計画法第三十四条第十号口の開発行為についてほか一件

日時：11月14日(金)午後2時

定員：先着十人
問い合わせ：開発指導課管理係
TEL内線3251

参議院埼玉県選出議員補欠選挙の結果

候補者名（届け出順・敬称略） 得票数（） 内は埼玉県全体

島田ちやこ 三一、七五五票（六三五、三三二票）

九、五八一票（二三二、八五〇票）

当選者：島田ちやこ 二九、七四七票（六四八、三一九票）

当選者：島田ちやこ 九、五八一票（二三二、八五〇票）

当選者：島田ちやこ 九、五八一票（二三二、八五〇票）

当選者：島田ちやこ 九、五八一票（二三二、八五〇票）

*川越市の有効投票数は、七一、〇八三票。投票率は、二七・一三パーセントでした。

問い合わせ：川越市選挙管理委員会・TEL内線3711

志多町の山車・江戸天下祭に参加

江戸幕府400年を記念して行われる江戸天下祭（11月22日(土)～24日(休)）に、川越市を代表して志多町・弁慶の山車が参加します。24日(休)の正午から午後4時には、日比谷公園（千代田区）から皇居前広場までの約2kmにわたって山車とみこしの順行が行われます。

この順行には、志多町の山車をはじめ、千代田区内の山車・みこし、青梅市・熊谷市・鴨川市・大須賀町（静岡県）の山車、萩の大名行列などが参加します。

秋空の下、大江戸・東京で曳き廻される小江戸川越の山車。その勇姿が見られる江戸天下祭。市民の皆さんも足を運んでみてはいかがですか。

山車・みこし順行(先頭・最後尾)
と志多町の山車の運行予定表

場所	先頭	志多町	最後尾
A	出発時間	12:00	13:58 14:07
B	通過時間	12:16	14:14 15:09
C	通過時間	12:50	14:48 15:25
D	通過時間	13:15	15:13 15:36
E	到着時間	13:50	15:48 15:58

*山車・みこし順行は、全体先導（5団体）、山車・みこし（19団体）、付祭パレード（大名行列など）で構成。志多町の山車は、山車・みこしの18団体目です。なお、付祭パレードはBからDまでです。



*詳しくは、江戸開府400年記念事業公式サイト＝<http://edo400.net/home/index.jsp>をご覧ください。

御三家登城ウォークに川越藩行列保存会が随行

江戸開府400年記念事業の一環として行われる御三家登城ウォーク。御三家の一つである水戸藩の登城ウォークに、川越藩行列保存会が随行します。

同保存会は、昨年市制施行80周年記念事業で行われた上使行列の参加者で結成。今回、新たにメンバーを加え、総勢27人が参加します。

11月21日(金)午前8時から仙波東照宮（小仙波町1丁目）で祝辞伝達を行った後、登城ウォークの一行は、日比谷公園を目指して旧川越街道を南下します（22日(土)午後1時30分ごろ到着予定）。川越藩行列保存会では、川越藩主・松平大和守斉典役を立て川越藩御行列と称して随行します。同登城ウォークの一行を見かけたときは、ぜひ皆さんの声援をお願いします。



昨年の上使行列の様子（川越街道・三芳町）

問い合わせ…観光課観光推進担当・TEL内線2733



モルバン音楽祭

国際交流課国際交流担当・TEL224-8811内線2142



七月十七日から二十八日まで、姉妹都市オータン市（フランス・ブルゴーニュ州）で「モルバン音楽祭」が盛大に開催されました。毎年一万人の観光客が訪れるこの音楽祭の歴史は古く、ことしで二十八回目を迎えるました。昭和三十八年に創設されたヨーロッパ・カンタータ（ヨーロッパ少年合唱団の連合組織）の一つとして、その後、オータン市での「モルバン音楽祭」と発展していきました。オータン市が全面的に協力し

て、毎年オータン市で最もわやかな時期に開催しているこの音楽祭は、今や風物詩として、多くの人たちに親しまれ、オータン市民の誇りになっています。

音楽祭の期間は、毎日さまざまな催し物が市内各所で開催されます。聖歌隊員が個人で参加するほか、フランス国内はもとより、国外からも多くの合唱団やオーケストラが招待され、市内で街角コンサートを開きます。夜になると、オーバート（家々を訪問し、奏者と共に、見物をしている人たちも歩行者専用道路通り、ロマネスク様式教会の傑作といわれているサン・ラザール大聖堂まで行進します。

その後、みずから音楽活動に参加する方もいるそうです。



*ふりがなは広聴広報課で付けました。
同和問題の解決は、今や日本社会全体の課題です。「いろいろ」という県の教育委員会が配布しているこの冊子には人権・同和問題に関する細かい法律がたくさん紹介されています。私はこのようない法があるのを初めて知りました。また、同和問題に対する国や県の取り組みは昭和初期から始まっていたことも知りました。（つづく）

暮らし広がる
地域の
力
自治会活動から

初の試み、健康教室と敬老のつどい

9月15日、70歳以上の高齢者を招いて、健康教室と敬老のつどいを開催した鯨井自治会。この催しは、同自治会にとって初めての試みです。4月から準備を行い、当日は保健師による健康教室、人形劇や紙芝居などが行われ、出席した高齢者の皆さんは秋の一日を楽しんでいました。自治会長の早川覚廣さん（62歳）は、「初めてだったので準備がたいへんでしたが、皆さんが喜んでくれ、うれしいですね。来年以降も続けていきたいと考えています。





1人旅にて 玉城翔子（新宿町5丁目）

私はよく1人旅をする。私は沖縄出身で電車に乗ったことがなかった。石垣島という小さな島に育ち、大学進学のため18歳で上京し、ここまで（日本本土）来たらいろんな所へ行ってみようと思ったのがきっかけで始まった。

1人旅で思い出深いのが草津温泉だ。温泉知らずの沖縄っ子の私は、草津温泉のスケールの大きさに驚いたのだが、1人旅で徒歩だった私を民宿まで車で送ってくれたある夫婦のやさしさに感動した。入浴中におしゃべりしているうちに親しくなり、しまいには夕食までごちそうになった。

上京して初めて電車に乗った時、「ないちゃー（本土の人）はもの静かだね」と思った。電車内では寝るか、読書しているか、外を眺めているかで、一切他人と接しようとしている。これが東京（本土）なんだなと思った。しかし1人旅をしてみて、やはり人は1人では生きていけないという「人の出会い」を経験することができた。

人の出会いを大切にし、他人に優しさを与えるような大人になりたいと思う。沖縄方言で「ゆいまーる」という言葉がある。ゆい=結い。つまり人と人を結ぶ、助け合い生きていくという意味だ。まさにgive and take。助けられたら助けてあげるという気持ちを忘れず生きてていきたい。ふりがなは広聴広報課で付けました。

イラストコーナー



両岡一菜（12歳・伊勢原町1丁目）

募集 「旅の空から」（国内歓迎・400字程度）
「イラストコーナー」
〒350-8601 川越市役所広聴広報課



パエリアは、米を野菜や魚介類といつしょに炊き込むスペイン料理です。パエリア発祥の地といわれるスペインのバレンシア地方スエカ。ここで、毎年九月第二日曜日に行われるパエリアコンクールで、鈴木まみさん（38歳・砂新田）が優勝しました。

市内のスペイン料理店で、八年間コックをしている鈴木さん。コンクールには五年前から出場し、四年前と一昨年に続く三度目の栄冠に輝きました。参加者が同じ材料を使って腕を競うコンクールで、いちばんたいへんだつたのは火加減。ふだんはガスを使っているため、コンクールの直前には、国内でも実際にまきを使って練習しました。

まちのできごと トーチパレット 川越市の面積は109.16km²

吞龍デーに人力車散歩はいかが？



毎月8日、辻講釈や露店でぎわう蓮馨寺（連雀町）の吞龍デー。新たに人力車がお目見えしています。午前10時から、先着14人限定で無料で乗車できます。蓮馨寺から大正浪漫夢通り周辺を回る約10分のコース。「初めて乗りました。歩いているときよりも視界が高くて気持ちいいですね」と乗車した皆さんの評判も上々です。

さんばくに「中札内村」が初登場



恒例となったさんばく（川越産業博覧会）が10月25日・26日に川越運動公園で開催されました。市内の産業が一堂に会し、姉妹都市・友好都市の物産品も並びました。ことは、昨年11月に友好都市となった北海道中札内村が初登場。特産品のチーズやふかしたジャガイモを口にして「おいしい」と目を細める来場者の姿がありました。

山車にやさしい収蔵庫が完成



元町2丁目・山王の山車（県指定文化財）を保管する収蔵庫が完成し、10月26日、記念式典が行われました。外観は蔵造りで、床面には最近一般家庭では見かけなくなった「たたき（土間）」を採用。1年を通して湿度を自動的に調節し、山車にやさしい構造になっています。山車が入るのは1年後。庫内の余分な湿気をとてから収納されます。



世界一おいしいパエリアを作りました

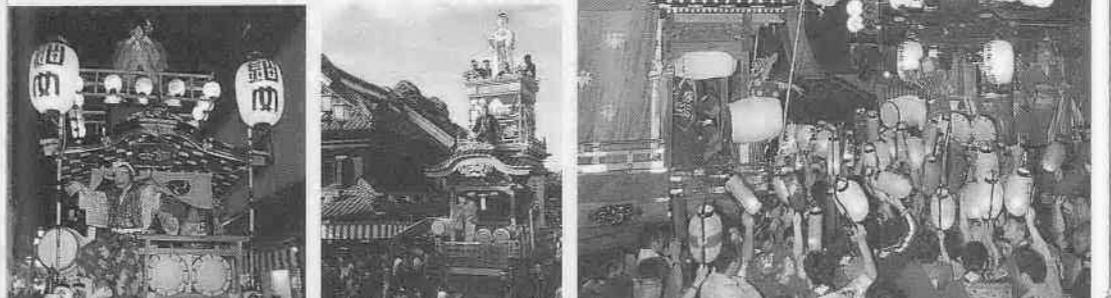


ことしも、勇壮に、華やかに、小江戸の秋に彩りを添えた二日間。七十万人の人出でにぎわいました。初日の午後、小雨が降ったものの、二日目はみごとな晴れ。豪華な山車や、軽快なテンポの囃子が藏造りの町並みに入り交じり、小江戸の「粹」を感じることができました。

小江戸の秋 川越まつり写真館



夜の曳かわせ



アートな川越 8

九月二十八日、川越の新しい観光名所として開館した「川越まつり会館」。

その名称板は、アルミニウムを鋳造して作られています。上の部分が曲線で縁取られた形は、破風を表現し、川越まつりの山車を連想させます。

中央には、祭りの主役である山車が描かれています。先日行われた川越まつりでは、巡行する山車が多く、多くの観光客でにぎわう同会館の前で止まり、回り舞台を向け、囃子を披露する光景が何度も見られました。まるで、看板の中の山車と曳つかわせをしているようでした。

同会館の近くの店舗には、ほかにも意匠を凝らした看板や名称板がいっぱい。散策する楽しみの一つになっています。



どんぐり

編集日記

8年ぶりに、息子の母校である小学校に行きました。だれもいないひっそりとした体育館に入ると、何の行事だったのか忘れていたが、当時子どもたちといっしょになって楽しんだバスケットボールのことを思い出しました。運動不足のためか体が思うように動きませんでしたが、したたり落ちる汗がとても心地よかったです。今でもはっきりと覚えていています▶薄暗い館内を一回りすると、模造紙8枚を横に連ねた絵に目が止まりました。小高い丘に咲くたくさんのタンポポとチューリップ。花に囲まれて、たくさんの子どもたちが満面に笑みをたたえ楽しそうに遊ぶ姿が……。中央には気球に乗る子どもたちも描かれています▶秋といえば、スポーツの秋・芸術の秋・読書の秋・食欲の秋などと、さまざまに形容されます。朝夕、少し寒いと感じるものの、何をするにもちょうどいい季節。現在、肥満が気になる私も、自分に合った運動でもやってみようかと思っています。皆さんもこのよい季節を迎えて、何か始めてみませんか。

TV わが街川越 番組ガイド

小江戸最高潮！ 川越まつり

一台の山車が参加したことし川越まつり。小江戸のまちが大いにぎわいを見せた二日間をお届けします。川越まつりの雰囲気をいつでも味わえる川越まつり会館オープンの様子も、併せてお伝えします。



市役所前での「山車揃い」(10月19日)

テレビ埼玉 (38ch) 毎月第1・第3土曜日とその翌日の日曜日に放映

11月15日(土)／午前9時30分～9時40分

11月16日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ (15ch)

11月14日(金)まで *11月15日(土)からは「わが街川越20年のあゆみ」を放送予定です。
午前9時30分～正午～午後5時30分～午後8時30分～午後11時30分～

テープコケーブルテレビ (9ch)

11月23日(祝)～11月29日(土)

午前6時30分～午後0時30分～午後4時30分～午後7時30分～午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

*放送時間に見られないときは、ビデオ録画しておくと便利です。